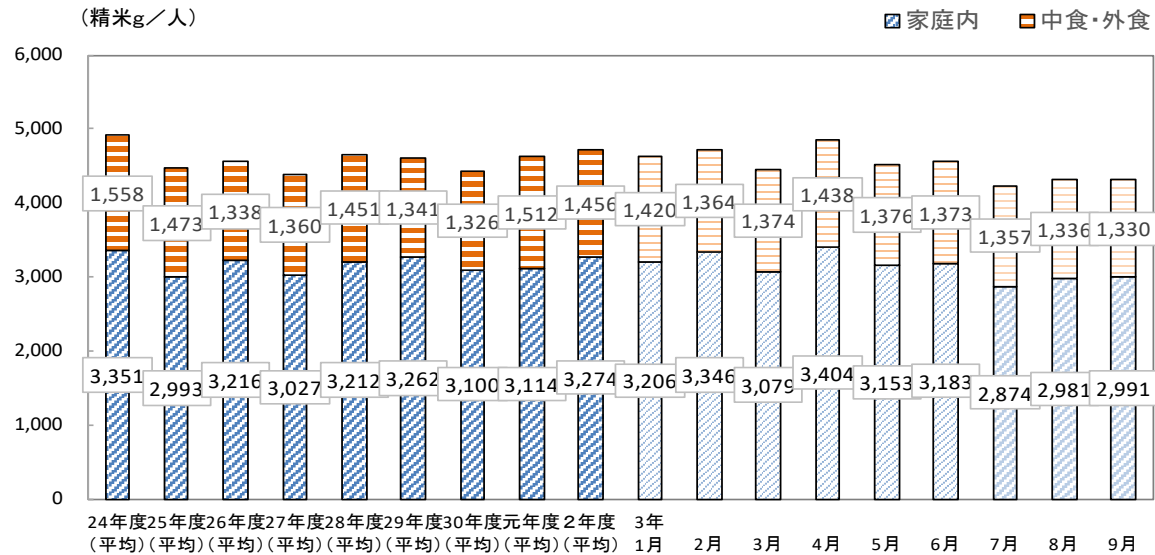


米の消費動向 ①(1人1ヶ月当たり精米消費量の推移)(米穀機構による調査)



	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計					合計					合計				
		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
令和3年 1月	4,626	3,206	1,420	951	470	100.0	69.3	30.7	20.6	10.2	1.4	5.1	▲6.0	7.2	▲24.7
2月	4,710	3,346	1,364	882	482	100.0	71.0	29.0	18.7	10.2	0.9	3.5	▲4.7	8.9	▲22.5
3月	4,453	3,079	1,374	875	499	100.0	69.1	30.9	19.6	11.2	▲3.4	▲4.1	▲2.1	1.4	▲7.6
4月	4,842	3,404	1,438	970	468	100.0	70.3	29.7	20.0	9.7	▲4.8	▲5.7	▲2.6	▲11.4	22.5
5月	4,529	3,153	1,376	927	449	100.0	69.6	30.4	20.5	9.9	▲8.6	▲9.3	▲7.0	▲10.2	0.4
6月	4,556	3,183	1,373	903	469	100.0	69.9	30.1	19.8	10.3	▲5.2	▲3.8	▲8.4	▲6.8	▲11.7
7月	4,231	2,874	1,357	877	480	100.0	67.9	32.1	20.7	11.3	▲8.4	▲8.7	▲7.8	▲7.7	▲7.9
8月	4,317	2,981	1,336	909	427	100.0	69.1	30.9	21.1	9.9	▲4.0	▲2.1	▲7.9	▲2.8	▲17.1
9月	4,321	2,991	1,330	897	433	100.0	69.2	30.8	20.8	10.0	▲6.9	▲7.3	▲6.1	3.0	▲20.6

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成24～令和2年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

2 調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

3 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

4 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成27年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

5 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

米の消費動向 ②(精米購入時の動向)

【購入・入手経路（複数回答）】

単位：％

	平成 25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
デパート	0.7	1.2	1.8	1.5	1.4	1.4	1.0	1.5	1.7	1.7	2.3	1.7	1.9	1.4	1.6	1.4	1.9
スーパーマーケット	47.4	48.7	48.1	49.7	49.4	52.7	50.1	49.8	49.6	48.6	48.3	50.7	51.3	52.8	52.2	54.3	48.8
ドラッグストア	3.8	4.1	3.7	3.7	4.3	4.8	5.9	5.7	6.0	7.1	7.5	6.7	7.4	7.3	7.0	6.4	6.1
ディスカウントストア	2.8	2.4	2.5	2.8	3.1	2.8	3.2	3.9	4.4	3.0	3.6	4.1	3.8	4.0	3.9	4.7	4.4
コンビニエンスストア	0.3	0.2	0.2	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.0	0.4	0.1	0.2
生協(店舗・共同購入含む)	7.1	8.2	7.8	8.1	6.9	6.5	5.9	7.0	7.2	7.1	6.6	6.8	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9
農協(店舗・共同購入含む)	1.6	1.5	1.0	1.5	1.6	1.2	1.3	1.1	0.7	0.8	1.0	0.4	0.4	0.6	0.7	0.4	1.0
米穀専門店	3.8	3.5	3.7	2.7	2.8	2.7	2.4	2.4	2.3	2.8	2.2	3.2	2.2	2.7	2.4	2.6	2.2
産地直売所	1.8	2.0	1.5	1.8	2.0	2.2	1.0	1.1	1.3	0.9	0.7	1.0	1.2	1.2	1.1	1.6	1.3
生産者から直接購入	6.8	6.7	5.2	6.2	7.1	6.0	5.9	5.0	4.8	5.7	5.2	5.4	4.8	4.8	4.4	4.3	5.0
インターネットショップ	10.0	8.7	9.7	9.6	10.0	9.8	8.1	9.7	11.0	9.3	10.3	10.1	8.9	8.9	9.3	8.8	8.4
家族・知人などから無償で入手	20.8	19.5	20.3	17.2	16.2	14.8	17.8	15.2	14.4	15.2	14.4	13.3	13.4	11.3	12.0	12.3	18.6
その他	1.6	2.6	2.6	3.2	2.5	2.3	3.4	4.1	4.1	3.4	4.5	3.3	4.2	2.9	4.3	3.5	3.6

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

（注）平成25～令和2年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

米の消費動向 ③(精米購入経路別の購入単価、家庭内の月末在庫数量)

【精米購入経路別の購入単価（複数回答）】 (円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	(生協・店舗・共同購入含む)	(生協・店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	－
2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	－
令和3年1月	513	422	356	363	※367	368	※386	532	247	340	527	1,776
2月	638	401	359	326	※500	463	※386	472	※572	324	448	1,715
3月	725	383	366	325	※598	421	364	455	※355	353	498	1,668
4月	528	376	366	306	※535	380	※362	473	716	351	443	2,311
5月	536	376	366	310	※790	410	※420	543	430	318	477	2,162
6月	579	369	360	343	—	388	※381	519	380	345	481	2,072
7月	573	378	458	326	※455	430	※444	453	378	375	478	1,978
8月	481	380	360	322	※467	428	※340	504	465	380	553	1,904
9月	473	381	364	379	※779	437	456	473	432	380	490	1,839

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
(注1) デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
(注2) 購入単価は消費税を除く本体価格である。
(注3) 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%未満に満たないため参考値とする。

【家庭内の月末在庫数量】 (kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
26年度	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	－
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	－
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	－
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	－
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	－
令和	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
元年度	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	－
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	－
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2							6.0	▲7.7
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33							2.33	－

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
(注1) 地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和3年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。
(注2) 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人数である。

主食用米の販売動向(米穀卸売業界調査)

[調査の概要]

全国米穀販売事業共済協同組合が、米穀の販売・需要動向を多角的に把握することを目的として、同組合会員企業を対象に実施。
四半期ごとに継続的に調査。

- アンケート回答数 58組合員
- 調査期間 令和3年9月21日(火)～令和3年10月12日(火)

1. 現在(令和3年9月)の米販売量(前年同月との比較)

集計結果	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
	100.0%	17.2%	17.2%	15.5%	27.6%	22.4%
<仕向先別>						
(小売店向け)	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
大手スーパー	100.0%	5.3%	31.6%	23.7%	21.1%	18.4%
中小スーパー	100.0%	9.6%	19.2%	28.8%	30.8%	11.5%
米穀専門店	100.0%	1.9%	1.9%	25.0%	34.6%	36.5%
その他	100.0%	21.4%	9.5%	21.4%	19.0%	28.6%
(外食産業向け)	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
外食向け	100.0%	3.8%	3.8%	26.9%	38.5%	26.9%
中食向け	100.0%	1.8%	20.0%	30.9%	25.5%	21.8%
給食向け	100.0%	0.0%	1.8%	60.0%	21.8%	16.4%

2. 米販売の動き:過去3ヶ月前との比較 / 3ヶ月後の見通し

(1) 過去3ヶ月前(令和3年6月)と比較した令和3年9月の動き						
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI値
100.0%	12.1%	15.5%	25.9%	22.4%	24.1%	42.2

(参考) 前回調査 令和3年3月と比較した令和3年6月の動き						
100.0%	13.1%	24.6%	24.6%	19.7%	18.0%	48.8

(2) 令和3年9月から3ヶ月後(令和3年12月頃)の見通し						
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI値
100.0%	3.4%	44.8%	25.9%	19.0%	6.9%	54.7

(参考) 前回調査 令和3年6月から3ヶ月後(令和3年9月頃)の見通し						
100.0%	1.6%	29.5%	47.5%	14.8%	6.6%	51.2

*1. 赤字は、最頻値及びDI値。
*2. DI(diffusion index)の算出方法:内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				

(参考) 茶わん1杯のお米の値段

○ ご飯は経済的な食べ物

○ 茶わん1杯のごはんを炊く前のお米(精米)の重さは **65g** くらいです。5kgの精米は約77杯になりますので、1,930円(小売価格の平均)のお米を買ってごはんを炊いた場合、1杯当たりのお米の値段は **約25円** となります。※

※ 茶わん1杯のごはんは、精米65g使用、5kg当たり1,930円(POSデータによるコメの平均小売価格(令和3年9月))で算出。



=

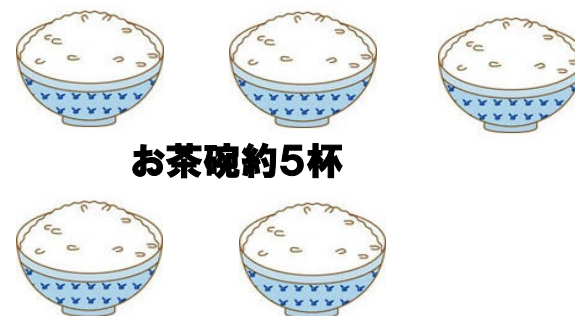


お茶碗約4杯

ミネラルウォーター(2リットル)102円



=



お茶碗約5杯

缶コーヒー 130円

出展：ミネラルウォーターは、総務省「小売物価統計調査(主要品目の東京都区部小売価格)」による2020年平均価格
缶コーヒーは、街中の自動販売機等で販売されている一般的な価格

販売目的で作付けした水稻の作付面積規模別農家数（平成19～令和2年）

- 都道府県全体では、一貫して農家数は減少（平成19年 1,326千戸→令和2年 714千戸）。
- 北海道では10ha以上作付している農家が1/3を占め、全体に占める割合も増加（平成19年 22.2%→令和2年 37.0%）。
都府県では1ha未満農家数が約2/3を占めるものの、5ha以上作付している農家の数・割合が増加しており（平成19年 22千戸（1.7%）→令和2年 43千戸（6.0%））、大規模農家の割合は増加傾向にある。

	北海道					都府県					
	計	3ha未満	3ha～5ha	5ha～10ha	10ha以上	計	1ha未満	1ha～2ha	2ha～3ha	3ha～5ha	5ha以上
平成19年	18 (100.0)	4 (22.2)	4 (22.2)	6 (33.3)	4 (22.2)	1,308 (100.0)	943 (72.1)	246 (18.8)	60 (4.6)	37 (2.8)	22 (1.7)
平成20年	17 (100.0)	4 (23.5)	4 (23.5)	5 (29.4)	4 (23.5)	1,259 (100.0)	904 (71.8)	231 (18.3)	63 (5.0)	37 (2.9)	24 (1.9)
平成21年	17 (100.0)	3 (17.6)	4 (23.5)	5 (29.4)	4 (23.5)	1,225 (100.0)	880 (71.8)	226 (18.4)	59 (4.8)	35 (2.9)	24 (2.0)
平成22年	16 (100.0)	4 (25.0)	3 (18.8)	5 (31.3)	4 (25.0)	1,144 (100.0)	843 (73.7)	190 (16.6)	54 (4.7)	35 (3.1)	22 (1.9)
平成23年	17 (100.0)	5 (29.4)	3 (17.6)	5 (29.4)	4 (23.5)	1,141 (100.0)	827 (72.5)	194 (17.0)	53 (4.6)	37 (3.2)	29 (2.5)
平成24年	15 (100.0)	4 (26.7)	3 (20.0)	5 (33.3)	4 (26.7)	1,042 (100.0)	763 (73.2)	174 (16.7)	48 (4.6)	33 (3.2)	24 (2.3)
平成25年	14 (100.0)	3 (20.0)	3 (20.0)	4 (26.7)	3 (20.0)	1,013 (100.0)	732 (72.3)	171 (16.9)	50 (4.9)	34 (3.4)	26 (2.6)
平成26年	14 (100.0)	3 (20.0)	3 (20.0)	4 (26.7)	4 (26.7)	982 (100.0)	702 (69.3)	170 (16.8)	50 (4.9)	33 (3.3)	27 (2.7)
平成27年	13 (100.0)	3 (23.1)	2 (15.6)	4 (31.4)	4 (29.9)	939 (100.0)	660 (70.3)	159 (16.9)	50 (5.3)	36 (3.8)	35 (3.7)
平成28年	12 (100.0)	3 (25.0)	2 (17.5)	4 (29.2)	4 (35.0)	859 (100.0)	593 (69.0)	153 (17.8)	50 (5.8)	33 (3.8)	30 (3.5)
平成29年	12 (100.0)	3 (23.3)	2 (17.5)	4 (33.3)	4 (33.3)	805 (100.0)	551 (68.4)	143 (17.8)	47 (5.8)	33 (4.1)	31 (3.9)
平成30年	13 (100.0)	3 (23.4)	2 (16.4)	4 (27.3)	4 (32.8)	777 (100.0)	527 (67.8)	140 (18.0)	45 (5.8)	33 (4.2)	32 (4.1)
平成31年 (令和元年)	12 (100.0)	3 (22.5)	2 (15.0)	4 (29.2)	4 (33.3)	749 (100.0)	503 (67.1)	137 (18.2)	44 (5.8)	33 (4.4)	33 (4.4)
令和2年	11 (100.0)	2 (19.6)	2 (14.2)	3 (29.3)	4 (37.0)	703 (100.0)	449 (63.9)	131 (18.7)	45 (6.5)	35 (4.9)	43 (6.0)

注：平成22、27、令和2年は、「農林業センサス」、その他の年は、「農業構造動態調査」の調査結果に基づくもの。

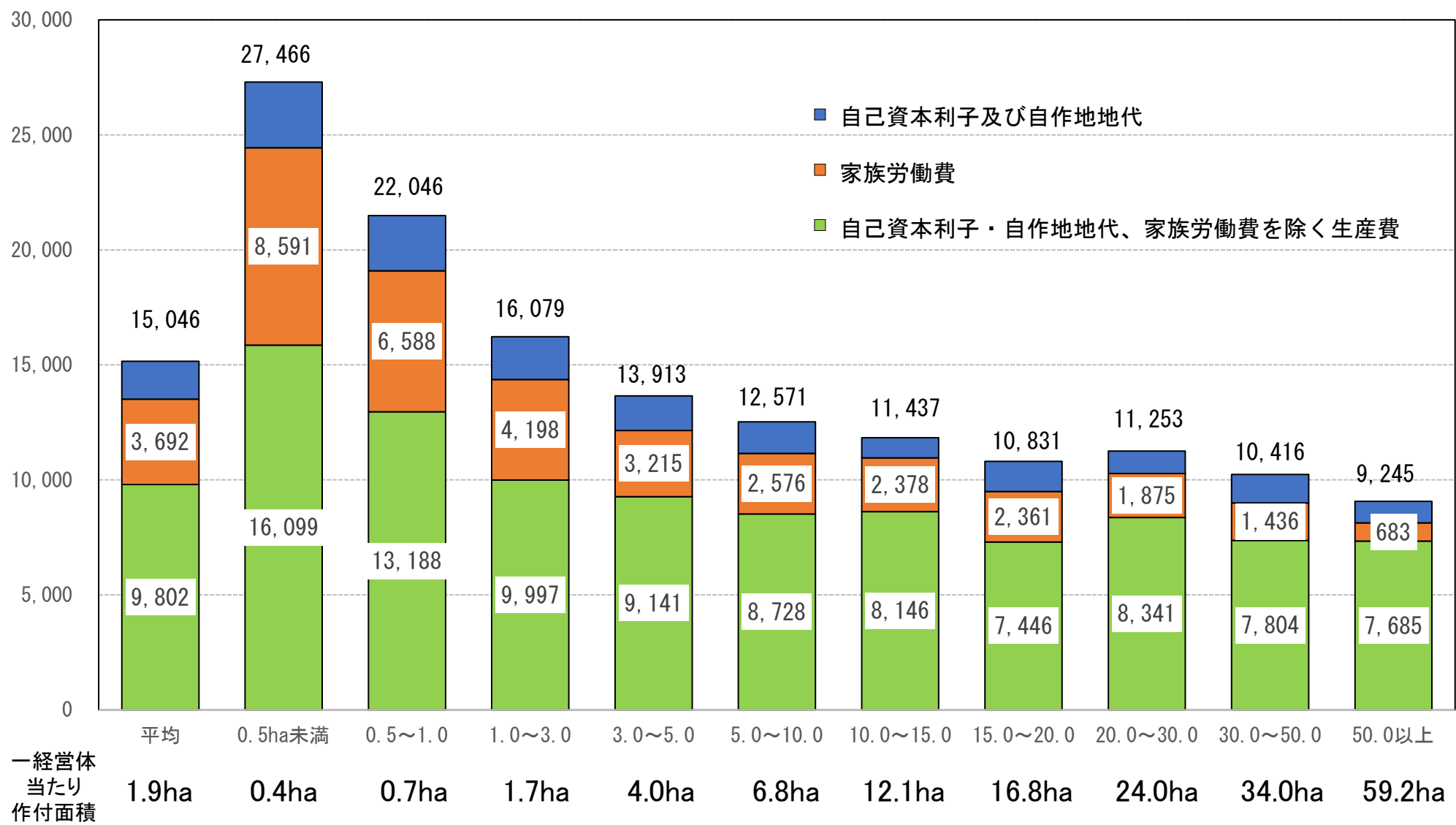
（農林業センサスは全数調査であるが、農業構造動態調査は標本調査である。）

ラウンドの関係で計と内訳の合計が一致しない場合がある。

上段（農家数）：千戸
下段（割合）：％

米の作付規模別60kg当たり生産費（令和2年産）

(円/60kg)



出典：令和2年産農産物生産費